

18. 北陸新幹線の早期整備について

北信越部会提出
説明担当 越前市

我が国に未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生により、災害に強い国土構造の実現が喫緊の課題となっています。そのため、災害などの緊急時における交通を確保するには、太平洋側中心の高速交通網だけでなく、新たな高速交通体系の中軸を日本海側に形成し、日本海国土軸の形成を確固たるものとしていく必要があります。

北陸新幹線は、東海道新幹線の代替補完機能を担う国家プロジェクトであるとともに、地域の振興、地域経済の活性化、更には日本経済の再生に極めて大きな効果をもたらすものであることから、東京—大阪間の全線を早期に整備する必要があります。

このほど、白山総合車両基地—敦賀間の着工方針が決定されました。整備期間は14年間、平成37年度完成とされておりますが、北陸新幹線の有する代替補完機能、京阪神との鉄道ネットワーク接続が果たせるよう、早期の整備が必要であります。

以上のことから、北信越地域の住民の長年の悲願である北陸新幹線の全線フル規格による整備が一日も早く実現するよう、下記の事項について強く要望いたします。

記

1 北陸新幹線の早期整備

- (1) 白山総合車両基地—敦賀間について、早期に整備すること。
- (2) 東海道新幹線の代替補完機能の重要性を鑑み、昭和48年に閣議決定された整備計画どおり大阪までの全線の整備方針を早期に策定すること。

2 沿線自治体のまちづくりに係る都市計画事業等の進捗に支障が出ないよう、着実に新幹線の整備を進めること。

3 公共事業費の重点配分や貸付料の活用などにより、安定的な事業推進が可能となるよう建設財源の確保を図るとともに、地方負担については適切な財源支援策を講ずること。